

こどもセンター Panem

(光の園子ども家庭支援センター)

里親家庭は地域で暮らす子育て家庭 みんなで一緒にこどもを育てるために

子育ては24時間365日、毎日の積み重ねで成り立っています。こどもと共に過ごす日々は、幸せな出来事、楽しいこと、嬉しい瞬間にあふれています。ただ同じくらい、悩みを抱えたり辛い思いをすることも少なくありません。



こどもセンターPanemでは、こどもと一緒に過ごす幸せな気持ちや悩みを分かち合えるように、
① 電話・来所相談 ② 預かり機能 ③ アウトリーチ支援 ④ 子育て法律相談 ⑤ 心理相談 等を通して直接こどもに触れながら、地域のこども・里子・一時保護のこども・児童養護施設のこどもたちの育ちを見守っています。

里親とともに

こどもセンターPanemでは、10年以上前から里親レスパイトケアに取り組んできました。児童養護施設光の園で社会的養護のこどもたちを育ててきた経験から、里親が自分の家庭で社会的養護のこどもたちを育てていくためには、里親自身が休息できることが必要だと実感していたからです。

里親レスパイトケアを利用された里親からは、

「こどもとの関係で悩むことが多くありますが、数日預かってもらえることで、こどもや自分自身がリフレッシュできていると感じます」

「保育園に行けていないので、他のこどもたちと一緒にすごすことができありがたいです。成長する姿が見られます」

「こどもたちが楽しく過ごしたようで、家に帰ってきてからまた行きたいと言っていました。こどもが喜んで行ってくれると安心して預けることができます」

といった声をいただいています。



光の園では6つの事業をかけあわせながら
こどもと子育て家庭の「おまもり」になれるよう
日々取り組んでいます

一緒に子どもを育てていく

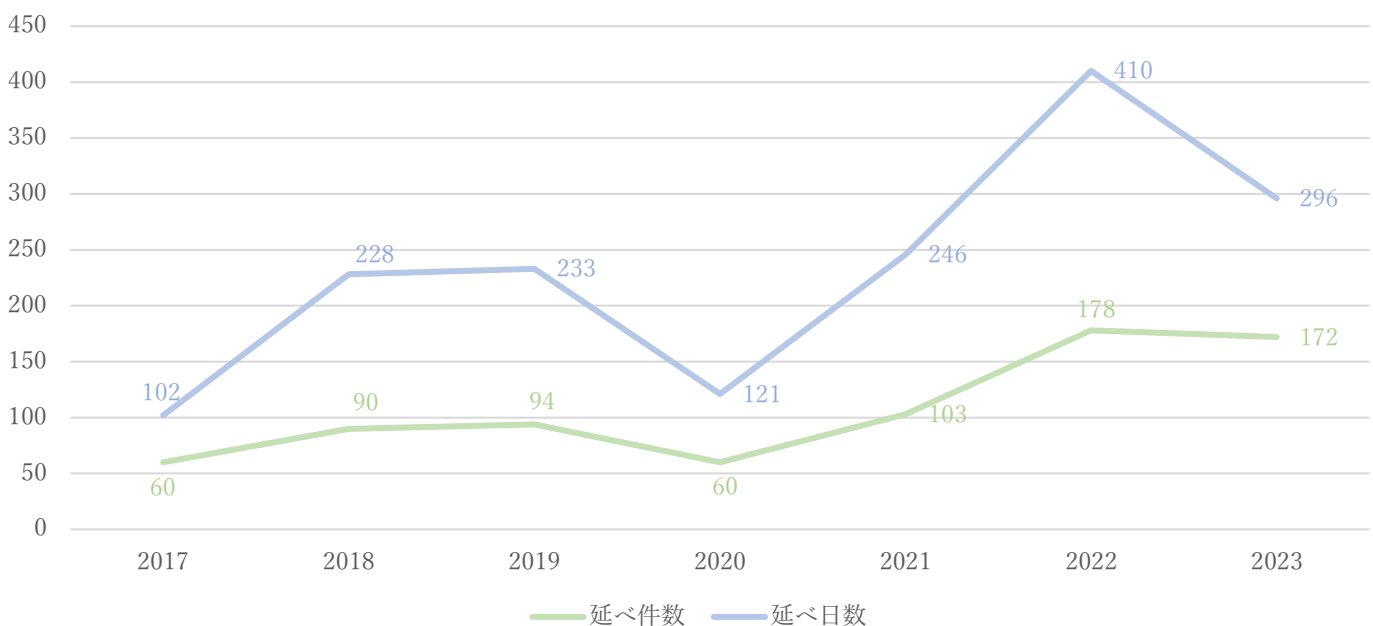
子育て家庭や里親からの信頼は、「預かりによるこどもの姿の共有」がベースとなると感じます。

休日夜間の預かりによって見えてくるものがたくさんあります。なぜなら、学校や保育所などの日中通っている場所以上に生活の様子が表れるからです。家庭内でのこどもの課題や対応の難しさが少しずつ見えてくることによって、保護者や里親の困りごと等に共感しながら、専門家としてのアドバイス・調整等が可能となっている事は、相談者の安心感に繋がっていると感じています。

令和5年度は延べ172人296日（実人数21人）のレスパイトケアを受け入れました。里親家庭や子どもたちの状況に影響を受けますが、レスパイトケアのニーズはとて高いことを実感しており、利用実績数にも表れています。里親家庭で暮らす子どもたちが増えれば増えるほど、ニーズが高まっていると感じます。

令和5年度にレスパイトケアでお預かりした実人数21人の内6人が初めて利用した子どもたちです。初めて子どもセンターPanemにくる子どもたちに「楽しかった！またパーネムに行きたい！」と思ってもらえるような、温かい関わりを心がけています。

レスパイトケア利用実績の推移



これからの里親支援

大分県では全国に先駆けて里親推進に取り組んできました。平成16年に7.4%だった大分県内の里親委託率は、令和5年3月末には39.4%と全国でも高い水準となり、里親推進を行ってきた成果として表れています。実家庭で暮らすことができない子どもたちが、里親という家庭環境で暮らすことができるように、今後ますます取り組んでいく必要があると考えています。

子どもたちが安心して里親家庭で暮らしていくために、なによりも重要なのは里親家庭とこどもの丁寧なマッチングだと考えています。里親家庭と子どもが出会い、生活を共にしていく家族となっていくためのスタートが良いものであれば、子どもは安心して暮らしていけるからです。里親家庭の状況やこどもの年齢、性格、生育歴に合わせながらマッチングを行うことは簡単なことではありませんが、フォスターケア・ドリフトが起こらないための重要なポイントだと感じています。

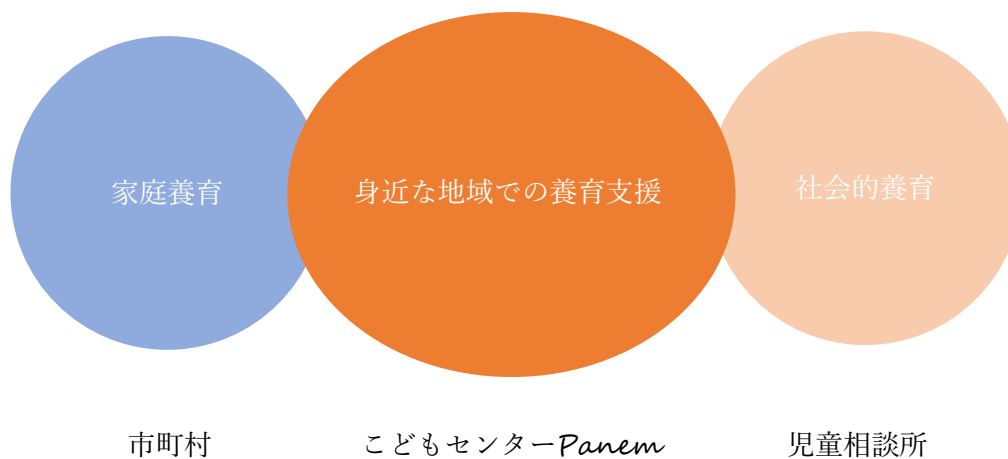
ちいさな園内では
草木や花をたくさん育てています



そして実際の生活が始まった後に必要となるのが、伴走型の支援であり、その中心となるのがレスパイトケアだと考えています。里親だけに子育てをまかせるのではなく一緒に子育てをしていく、そのための具体的な効果的な支援は子どもたちを実際に預かるレスパイトケアだと確信しています。

また、すべての支援が切れ目なくワンストップで行われることが重要だと感じています。今年（令和6年）より創設された里親支援センターが整備され、里親と子どもたちを支えられるチームができていくことに期待し、私たちがその一員になることを望んでいます。

社会的養育施設によるこども家庭支援の新たなかたち



まとめ

国の重要施策として推進されている里親制度。自分自身の家庭で暮らすことを望みながらも叶わないこどもたちが、家庭的な暮らしを送っていくために、今後ますます光が当たっていくと考えられます。

私たちはこれまでもこれからも、里親やこどもたちに「見て・触れて・考えて」、こどもたちの幸せのために取り組んでいきます。

地域で暮らす全ての子育て家庭・里親家庭の「親戚」として、子どもたちを自然に預かっていくことが、子どもも保護者も安心して暮らしていけるまちづくりになると確信しており、私たちのミッションだと考えています。



社会福祉法人 別府光の園
児童養護施設 光の園
保育園 子どもの広場
児童館 親子の広場
クラブ 子どもクラブ
共同生活援助 グループホーム

Plaza Puer
光の園

こどもセンター
Panem

光の園 子ども家庭支援センター
別府市子ども家庭総合支援拠点支所
光の園 一時保護所

〒874-0838 大分県別府市荘園8組 TEL0977(23)2506 FAX0977(27)0877
✉ beppu.hikarinosono@gmail.com